

## 東区 区域まちづくり事業 効果検証シート

事業名称		実施主体			
東区グリーンカーテン普及事業		東区役所企画総務課			
事業目的	事業効果	活動指標	H30	R1	R2
地域や家庭でのグリーンカーテン普及を促進し、区民協働で環境にやさしいまちづくりを推進する。	グリーンカーテンの啓発活動を通じて、区民の環境問題への関心が高まり、地域や家庭でのグリーンカーテンや環境への取組が広がる。	①パネル展示の閲覧者 (択一式アンケート数)	—	42	43
		②アンケート数 (記述式)	15	15	21
①妥当性	②協働の視点	③インパクト	④効率性		
<input type="radio"/> 低炭素社会の推進をめざした取組であり、区民の取組を促すうえで区が先進的に実施すべき事業である。	<input type="radio"/> 行政は普及啓発活動を担い、区民の皆さんには各家庭での取組などを担って頂く。	<input type="radio"/> 平成30年度からは正面玄関に加え、にこにこルーム横にグリーンカーテンを新規設置し、よりPRを行った。加えて令和2年度には未就学児による収穫体験の機会創出や、区内での取組事例を募集し紹介するなど、取組の必要性や魅力を発信した。	<input type="radio"/> 区域の拠点施設である区役所にグリーンカーテンを設置し、来庁者のみならず、付近通行人にも環境への取組事例の発信及び魅力発信できていた。また、未就学児を対象とした施設であるにこにこルームにも併設設置し、より幅広い年代に対するPRとなっていた。		
⑤自立発展性	総合評価				
<input type="radio"/> 取組が普及し、グリーンカーテンの効果や魅力が地域に広がることで、自発的に各家庭で取組まれることが期待される。	<input type="radio"/> グリーンカーテンは、身近な環境問題として各家庭で取り組みやすいものである。環境保全・低炭素社会の実現は東区まちづくりビジョンの重要施策の一つである。区役所玄関前にグリーンカーテンモデル設置することや、区役所ロビーにおいてゴーヤの成長過程のパネル展示を実施することで、広く区民にPRできている。また、グリーンカーテンの副産物であるゴーヤの実を利用した料理レシピを募集・紹介することで、グリーンカーテン導入のメリットをPRすることができた。				
今後の方向性(課題、改善提案等)					
拡充 <input checked="" type="radio"/> 継続 見直し 廃止	グリーンカーテンの普及啓発として、区役所玄関前及びにこにこルーム横にモデル設置した。来年度もグリーンカーテンを設置することで、周知活動を展開し、環境にやさしいまちづくりに取り組む。				